

横浜 山下公園

YAMA SHITA PARK

海辺に刻まれた街の記憶



YAMASHITA Park

The Memory of the city of Yokohama
carved in a Waterfront

2016 4.16 | 土 | — 7.3 | 日 |

横浜都市発展記念館

【開館時間】 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) 会期中の水曜日は午後7時まで開館します

【休館日】 毎週月曜日

【入館料】 一般300円、小・中学生150円 この料金が当館常設展および横浜ユース文化館もご覧いただけます。
毎週土曜日、小・中学生と高校生は無料です。

主催：横浜都市発展記念館 共催：横浜市教育局

後援：朝日新聞横浜総局／神奈川新聞社／東京新聞横浜支局／日本経済新聞社横浜支局／毎日新聞横浜支局
読売新聞横浜支局／NHK横浜放送局／+vkc 協力：横浜セントラルタウンフェスティバル実行委員会



1. 復興記念横浜大博覧会鳥瞰図
昭和10(1935)年 当館所蔵
2. 山下公園にて 昭和13(1938)年頃
株式会社ホテルニューグランド所蔵
3. 接収中の山下公園 昭和30(1955)年頃
横浜市史資料室所蔵
4. 「氷川丸観光開業記念」昭和36(1961)年
日本郵船歴史博物館所蔵
5. 行楽客でにぎわう山下公園
昭和40(1965)年 神奈川新聞社所蔵
6. ポスター「よこはま」 昭和戦前期
横浜みなと博物館所蔵

チラシ表面資料

- [上] 山下公園にて 昭和14(1939)年
折原永子氏寄贈・当館所蔵
- [中] ホテルニューグランドから望む山下公園
昭和戦前期 当館所蔵
- [下] 生鮮館 昭和10(1935)年
内山登貴子氏所蔵

横浜山下公園

展示構成

フロア～ 外国人居留地と海岸通り～

- I 都市計画のなかの公園
- II 廃墟から生まれたプロムナード
- III 山下公園の誕生
- IV 復興記念横浜大博覧会
- V 観光都市ヨコハマへ
- VI 紀元2600年を迎えて

トピック ホテル・ニューグランドと山下公園

VII フェンスに囲まれた公園

VIII 景観を守れ!～みなとの整備計画

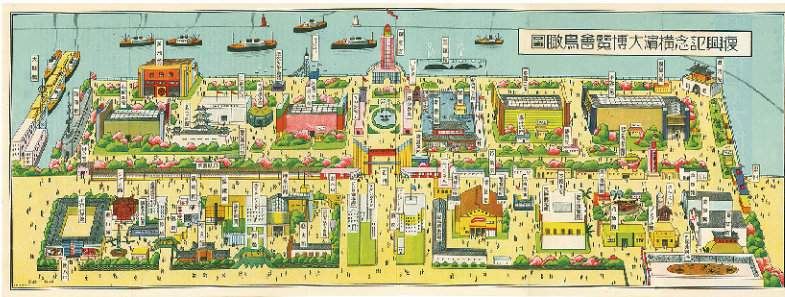
トピック 公園のモニュメント～インド水塔

IX マリントワーと氷川丸

トピック まぼろしの海上公園計画

X 変わりゆくウォーターフロント

エピソード ～未来の山下公園を描く～



1



3



4



5



2

横浜の観光名所のひとつである山下公園は、関東大震災の復興公園として昭和5(1930)年に開園しました。それまで貿易設備を中心に建設されてきた横浜港の一角に、国内初の臨海公園として誕生した山下公園は、人びとに憩いのための海辺の空間を提供し、横浜のあらたな名所となっています。戦後しばらくは米軍による接収の時代が続きますが、その後はマリントワーの建設や氷川丸の係留により、山下公園界隈は横浜屈指の観光地として一層の整備が進みます。現在では、赤レンガパークや象の鼻パークなど臨港地区の多くが、人びとのための賑わいのスペースとして開放されています。本展示では、その原点といえる山下公園を舞台に「憩いのウォーターフロント」としての歴史を振りかえります。

関連企画

展示解説

展示担当が見どころを解説します。参加費無料(入館券が必要です)
日時: 5月1日(日)、6月26日(日) 11時～

ガイドツアー「山下公園のヒミツを探れ!」(ミニ講座つき)

共催: NPO法人横浜シティガイド協会
当館でのミニ講座がついたおトクなガイドツアーです!
日時: 5月15日(日)、5月24日(火)
集合: みなとみらい線元町・中華街駅「元町」側改札前に9時30分集合
12時頃当館にて解散予定
参加費: 各回800円(保険代含む)
定員: 各回30名
申込み方法は横浜シティガイド協会HPにて。 <http://www.ycga.com/>
※当館での受付はしておりません。

ワークショップ「オリジナル絵はがきを作ろう(ぬり絵)」他

毎週末および祝日に当館1階で開催。参加費無料、申込み不要です。

写真募集!「みんなの思い出でつくる山下公園」

日時: 会期中随時。詳しくはHPにて。

連続講座「海辺のプロムナード・山下公園」

昭和の記憶が刻まれた山下公園の歴史をたどる全2回の連続講座です。
共催: 横浜マリントワー
会場: 横浜マリントワー 3F「マリントワーホール」
日時: 第1回 6月10日(金)「戦前編 先人たちが描いた未来図」
第2回 6月17日(金)「戦後編 憩いのウォーターフロントの復活」
各回13時30分～15時
参加費: 全2回で1,000円
定員: 80名(応募多数の場合は抽選)
応募方法: 往復はがきに住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記のうえ、下記宛にお申込みください。1通につき2名様まで。※EA/ハマ発会員の方は、優先的にお申込みを受け付けます。お申込み時に会員No.をご記入ください。
〆切: 5月27日(金) 必着
宛先: 〒231-0021 横浜市中区日本大通12
横浜都市発展記念館「連続講座」係

上映会「ニュース映画にみる昭和の横浜」

戦後期の横浜を記録した貴重なニュース映像を解説つきで上映します。
日時: 5月18日(水)、6月1日(水) 18時～(各回30分程度)
参加費: 200円

関連写真展

会期: 4月16日(土)～7月3日(日) 入場無料

広瀬始親写真展

「街にフェンスがあった頃 ―昭和30年頃の横浜―」

共催: 横浜開港資料館 会場: 当館1階ギャラリー

写真展

「マリントワー開業55周年 ハマに展望塔ができるまで」

協力: 横浜市史資料室 会場: 当館1階旧第一玄関

157 横浜セントラルタウンフェスティバル“Y157”参加プログラム
5月28日(土)・29日(日)

全館無料 “Y157”開催日の**5月28日(土)・29日(日)**および
開港記念日の**6月2日(木)**は**全館無料**でご覧いただけます!

横浜都市発展記念館

〒231-0021 横浜市中区日本大通12 Tel. 045-663-2424

アクセス

- 東急東横・みなとみらい線日本大通駅(3番出口)0分
- 横浜市営地下鉄ブルーライン関内駅(1番出口)から徒歩約10分
- JR京浜東北・根岸線関内駅(南口)から徒歩約10分
- 横浜市営バス「日本大通駅県庁前」から徒歩1分

横浜都市発展記念館 | 検索

